

# 連合事務のお働きに感謝して

2011年度から連合事務として仕えてくださった牧野信栄姉(東八幡)が、3月18日(土)をもって退職されることになりました。地域協働プロジェクト構想を話し合っていた時代から今日に至るまで、連合と諸教会とをつなぐ役割を果たしてくださいました。「連合ニュース」のバックナンバーを見ることで、この6年間の連合の歩みが手に取るように分かります。これまでのお働きに感謝するとともに、今後のますますのご活躍をお祈り申し上げます。(運営委員長 山田雄次)



2011年度より連合事務局として委託を受け、2016年度まで務めさせていただきました。何も分からない私でしたが、諸教会の皆さまに教えていただき祈りと献金で支えていただき続けることができました。心より感謝いたします。新年度より新しい生活に入りますが、いつも北九州地方連合の事を祈り続けると思います。この素晴らしい北九州を離れるのは寂しいです。しかしこれは神様がはじめられた働きです。これからもその計画は続けられて行く事と信じています。今まで本当にありがとうございました。

(連合事務 牧野信栄)

## 編集後記

1月の「教会おじゃまします」で訪問したときに、小野田めぐみ幼稚園で撮影しました。うさぎのミミちゃんです。

昼間は園庭で放し飼いです。この時期は葉ボタンを食べるのが大好き。美味しそうな野菜も育てているのですが、どうしても葉ボタンを食べてしまうのだそうです。生き物を世話するために、佐野園長はほぼ毎日、幼稚園に出向いていると伺いました。子ども達の笑顔の向こう側に、教会の祈りに支えられたスタッフの地道な働きがあります。



## 次回予告

巻頭言：岩崎一宏牧師(枝光)  
おじゃまします報告：飯塚教会

## 3月の予定

3月10日(金)連合新旧合同役員会  
(シオン山)18時半  
11日(土)連合壮年会定期総会  
(シオン山)10時  
13日(月)連合牧師会・カリス会  
(富野)11時  
20日(月)連合ソフトボール大会  
(西南女学院中高)13時  
22日(水)西南神学部卒業礼拝  
(博物館チャペル)13時  
23日(木)教会おじゃまします  
～飯塚教会13時半  
九州バプテスト神学校卒業式  
(大名)18時

## 宣教支援センターHP&Facebook

宣教支援センターのHP & Facebookが出来ました。以下のURLからアクセス可能です。是非、一度ご覧ください。

ニュースレターのバックナンバーを閲覧するにはパスワードが必要です。

HP：<http://bapkitaq.jimdo.com>

パスワード：kitaq2015

# 連盟全国支援・地域協働プロジェクト バプテスト北九州地方連合 宣教支援センターニュース 19号



発行責任者：山田雄次  
発行所：〒805-0015  
北九州市八幡東区荒生田2-1-40  
Tel&Fax：(093)651-6669  
東八幡キリスト教会内  
連合宣教支援センター事務局  
発行日：2017年3月8日



## 豊前教会と音楽委員会の協働

教会おじゃまします 折尾教会

炊き出し弁当に祈りをつめるプロジェクト

連合事務のお働きに感謝して

写真：ハンドベルワークショップ(初心者クラス)  
(1/23 シオン山教会)



## なぜ、宣教支援センターを設けたのか

宣教支援センター主事 齊藤 弘司(東八幡)

北九州地方連合が、連盟全国支援・地域協働プロジェクトの支援を受けて、宣教支援センターを開設してから2年の月日が過ぎようとしています。連合の交わりが活性化しつつあることは、まさに協力伝道を証する出来事であると思います。ここでもう一度、私たちが宣教支援センターを設けるに至った理由をおさらいしておきたいと思います。

一番の理由は「孤立する教会を生み出さない」ということです。田川教会の消滅を受けて、連合は2005年に第1回宣教会議を開いて、教会同士の相互訪問プログラム「一歩プログラム」を始めました。信徒グループによる訪問によって礼拝や祈りを共有する試みでした。

2006年の連盟定期総会における懇談で取り上げられた「地域協働夢プロジェクト」の提案を受けて、連合内で議論を積み重ねていた矢先の2009年、戸畑教会の解散という出来事が起こりました。この時も連合は祈りに覚えながらも、教会を支えることができませんでした。このことは大きな痛みとして連合諸教会の方がたの中に残っています。

センター教会構想委員会の議論では、教会消滅の痛みから良心の呵責で何かを生み出すのではなく、他者に開かれた教会を目指すというパラダイムシフトが起こりました。自分たちにとって居心地のよい教会に留まるのではなく、他者とかかわることで元気にされていく方向を目指すようになりました。

様々な議論を経て、各個教会の宣教活動を連合諸教会が相互に支援できるようにすること。そして連合の委員会活動を諸教会の協働によって行うようにすることで、連合を全教会参加型の組織に変えていくこと。教会強化と連合強化のコーディネートを推進する「宣教支援センター」を設ける案が固まりました。8年間限定で専従の主事を立てて、全教会が必要な働きを担うようになると共に、主事の働きを縮小させていく。以上の内容を盛り込んだ「宣教支援センタープロジェクト」計画案が2013年連合年次総会で可決され、2014年度連盟定期総会で全国支援・地域協働プロジェクトとして決議されたのです。

## 豊前教会と音楽委員会の協働

1月21日～23日にかけて大井教会音楽主事の菊地るみ子先生を北九州にお招きし様々な場所でハンドベルに関わるイベントが開催されました。元々は豊前教会のチャペル・コンサートに菊地先生をお招きしていたのですが、せっかく東京から来てくださるのに自分たちの教会だけでコンサートをすることは勿体ないという思いが豊前教会の中から沸き起こり、思い切って連合音楽委員会にも声をかけて協働出来る部分を模索した結果、今回の諸イベントの実現に繋がりました。

21日にシオン山教会を会場として行われた連合音楽委員会主催のコンサートには連合諸教会より多くの参加者が与えられました。翌日は豊前教会にてチャペル・コンサートが開催され、地域より60名を超える参加者が与えられました。そして、最終日はハンドベルワークショップと題し、北九州地区にあるハンドベルチームに声掛けをし、菊地先生を講師にして合同の講習会を持ちました。日頃は別々に活動しているハンドベルチームが共に学ぶ機会は滅多になく、良い交わりの時となりました。また同時に美登恭子姉(連合音楽委員)による初心者クラスも併設され、ハンドベル初心者の方々にこの楽器の楽しさを知ってもらおう良い機会となりました。

今回、豊前教会と音楽委員会はそれぞれが出来ることをなし、福音宣教、連合諸教会の交わりのために共に良いものを作ろうと祈りを合わせました。このように、ある一つの教会がアイデアを提供し、連合の委員会を動かし、そして協働していく形は、北九州地方連合が目指しているサポート教会の一つのモデルケースになるのではないのでしょうか。次年度からいよいよサポート教会が始まります。教会と委員会の協働は教会にとっては成長の機会、委員会にとっては新しい視点を得ての活動の充実に繋がります。多くの教会がサポート教会に名乗りを上げ、教会と連合の活性化がなされていくことを期待しています。(豊前教会 本山大輔)

第14回

## 折尾教会を訪問しました

JR鹿児島線・福北ゆたか線の折尾駅から歩いて10分もかからない場所に、300坪という広い土地を持つ折尾教会があります。2月23日(木)14時の開始時間に合わせて、11教会から40名の方がたが集まってくださいました。

内村茂牧師は奨励の中で、主日礼拝、祈祷会、春と秋の特別伝道集会を地道に行っていくことで、み言葉の力を信じていきたいという思いを率直に語ってくださいました。

分かち合いの時間には1952年に献堂された会堂が、雨漏りひとつしていないことが話題となりました。また北九州市内では珍しい Hammondオルガンが現役で使われていることも注目を集めていました。昨年秋には連盟の伝道プログラム支援を受けて、音響機器を更新したそうです。教会員のお一人から「礼拝のメッセージがとても聞き取りやすくなりました」との感謝の言葉をお聞きしました。

折尾地区は、福岡県立東筑高校、折尾愛真学園、九州共立大学と、学校の多い地区です。学生伝道への期待も膨らみます。祈りをもって備えてくださった折尾教会の皆様、本当にありがとうございました。



伝道委員会と宣教支援センターの共同企画  
教会おじやまします

## 炊き出し弁当に祈りをつめるプロジェクト



東八幡教会いのちと平和委員会では、2月17日(金)にNPO法人抱樸の炊き出し弁当作りを担当しました。献立は恒例の牛丼弁当です。弁当作りは平日昼間に行われるため、勤務の都合等でどうしても参加できない方がおられるという課題がありました。そこで今回、初めての試みとして、教会に来られる方がたに食材の提供やカンパを呼びかける「炊き出し弁当に祈りをつめるプロジェクト」を立ち上げました。軒の一角にポスターを貼って、お米や、野菜などの材料を入れる器、そしてカンパ箱を置きました。このプロジェクトはとても好評で、抱樸からいただく材料経費をそのまま寄付としてお返しすることができました。思いを寄せて協働する道を開くことは、社会を変えることにつながっていると思います。

